B5FJ-3591-01

取扱説明書

このたびは弊社の製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

目　次

マニュアルのご紹介

※お使いの機種によりイラストは異なります。

■添付の紙マニュアル

□『はじめに添付品を確認してください』

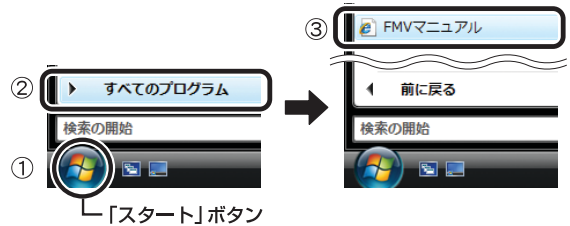
添付の機器、マニュアル、CD などの一覧です。
ご購入後、すぐに添付品が揃っているか確認してください。欠品などがあった場合は、できるだけ早くご購入元にご連絡ください。

□『取扱説明書』（本書）

使用上のご注意、パソコンを使うための準備、ご購入時の状態に戻す方法などを説明しています。

■インターネット上のマニュアル

FMVマニュアル (http://www.fmworld.net/biz/fmv/support/fmvmanual/)

本パソコンのマニュアルはインターネットでご覧いただけます。①「スタート」ボタン→②「すべてのプログラム」→③「FMV マニュアル」の順にクリックし、お使いの機種を選択してご覧ください。

FMV バリューシリーズでは添付の「ドライバーズディスク」にも格納されています。
「ドライバーズディスク」をセットすると、「ドライバーズディスク検索」ツールが起動します。「種別」から「マニュアル」を選択してください。一覧が表示されますのでご覧になりたいマニュアルをダブルクリックしてください。

注：インターネット上のマニュアルは、随時、最新の情報に更新されます。

□本体のマニュアル『製品ガイド』

パソコン本体のマニュアルです。
機器の取り付け、ソフトウェア、トラブルシューティングなど、パソコンの使い方について説明しています。

□機能別のマニュアル

カスタムメイドや FMV バリューシリーズで選択した機器をお使いになるときや、セキュリティ関連のソフトウェアなどをお使いになるときに必要な内容が記載されている機能別のマニュアルを用意しています。
該当するマニュアルをご覧ください。

目的に合わせてお読みください

（■：添付の紙マニュアル、□：インターネット上、および「ドライバーズディスク」内のマニュアル）

- 箱の中身を確認する .... ■『はじめに添付品を確認してください』
- パソコンを使うための準備をする .... ■『取扱説明書』の「必ずお読みください」
- 各部の名称や取り扱い方 .... □『製品ガイド』の「各部名称」
- 周辺機器の取り付け方法 .... □『製品ガイド』の「ハードウェア」
- 添付のソフトウェアについて .... □『製品ガイド』の「ソフトウェア」
- セキュリティ対策について .... □『製品ガイド』の「セキュリティ」
- トラブルの解決方法 .... □『製品ガイド』の「トラブルシューティング」
  「トラブルシューティング」を読んでも解決しない場合は、「FMV シリーズをお使いになる上での注意事項」をご覧ください。（「FMV マニュアル」のページ（上記 URL）からご覧いただけます。）
- ドライバについて .... □『製品ガイド』の「ソフトウェア」
- 仕様について .... □『製品ガイド』の「技術情報」
- 購入時の状態に戻す .... ■『取扱説明書』の「リカバリ概要」、「リカバリ操作」

本書をお読みになる前に

安全にお使いいただくために

このマニュアルには、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。
本製品をお使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、「安全上のご注意」をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。
また、このマニュアルは、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

保証書について

- 保証書は、必ず必要事項を記入し、内容をよくお読みください。その後、大切に保管してください。
- 修理を依頼される場合には、必ず保証書をご用意ください。
- 保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。
- 保証期間内でも、保証書の提示がない場合や、天災あるいは無理な使用による故障の場合などには、有料での修理となります。ご注意ください（詳しくは、保証書をご覧ください）。
- 修理後は、本製品の内容が修理前とは異なり、ご購入時の状態や、何も入っていない状態になっている場合があります。大切なデータは、フロッピーディスクなどに複写して、保管しておいてください。
- 本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造終了後 5 年です。

使用許諾契約書

富士通株式会社（以下弊社といいます）では、本製品にインストール、もしくは添付されているソフトウェア（以下本ソフトウェアといいます）をご使用いただく権利をお客様に対して許諾するにあたり、下記「ソフトウェアの使用条件」にご同意いただくことを使用の条件とさせていただいております。
なお、お客様が本ソフトウェアのご使用を開始された時点で、本契約にご同意いただいたものといたしますので、本ソフトウェアをご使用いただく前に必ず下記「ソフトウェアの使用条件」をお読みいただきますようお願い申し上げます。ただし、本ソフトウェアのうちの一部ソフトウェアに別途の「使用条件」もしくは「使用許諾契約書」等が添付されている場合は、本契約に優先して適用されますので、ご注意ください。

ソフトウェアの使用条件

1. 本ソフトウェアの使用および著作権
   お客様は、本ソフトウェアを、日本国内において本製品でのみ使用できます。なお、お客様は本製品のご購入により、本ソフトウェアの使用権のみを得るものであり、本ソフトウェアの著作権は引き続き弊社または開発元である第三者に帰属するものとします。
2. バックアップ
   お客様は、本ソフトウェアにつきまして、1 部の予備用（バックアップ）媒体を作成することができます。
3. 本ソフトウェアの別ソフトウェアへの組み込み
   本ソフトウェアが、別のソフトウェアに組み込んで使用されることを予定した製品である場合には、お客様はマニュアル等記載の要領に従って、本ソフトウェアの全部または一部を別のソフトウェアに組み込んで使用することができます。
4. 複製
   (1) 本ソフトウェアの複製は、上記「2.」および「3.」の場合に限定されるものとします。
   本ソフトウェアが組み込まれた別のソフトウェアについては、マニュアル等で弊社が複製を許諾していない限り、予備用（バックアップ）媒体以外には複製は行わないでください。
   ただし、本ソフトウェアに複製防止処理がほどこしてある場合には、複製できません。
   (2) 前号によりお客様が本ソフトウェアを複製する場合、本ソフトウェアに付されている著作権表示を、変更、削除、隠蔽等しないでください。
5. 第三者への譲渡
   お客様が本ソフトウェア（本製品に添付されている媒体、マニュアルならびに予備用バックアップ媒体を含みます）を第三者へ譲渡する場合には、本ソフトウェアがインストールされたパソコンとともに本ソフトウェアのすべてを譲渡することとします。なお、お客様は、本製品に添付されている媒体を本製品とは別に第三者へ譲渡することはできません。
6. 改造等
   お客様は、本ソフトウェアを改造したり、あるいは、逆コンパイル、逆アセンブルをともなうリバースエンジニアリングを行うことはできません。
7. 壁紙の使用条件
   本製品に「FUJITSU」ロゴ入りの壁紙がインストールされている場合、お客様は、その壁紙を改変したり、第三者へ配布することはできません。
8. 保証の範囲
   (1) 弊社は、本ソフトウェアとマニュアル等との不一致がある場合、本製品をご購入いただいた日から 90 日以内に限り、お申し出をいただければ当該不一致の修正に関して弊社が必要と判断した情報を提供いたします。
   また、本ソフトウェアの記録媒体等に物理的な欠陥（破損等）等がある場合、本製品をご購入いただいた日から 1ヶ月以内に限り、不良品と良品との交換に応じるものとします。
   (2) 弊社は、前号に基づき負担する責任以外の、本ソフトウェアの使用または使用不能から生じるいかなる損害（逸失利益、事業の中断、事業情報の喪失その他の金銭的損害を含みますが、これに限られないものとします）に関しても、一切責任を負いません。たとえ、弊社がそのような損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。
   (3) 本ソフトウェアに第三者が開発したソフトウェアが含まれている場合においても、第三者が開発したソフトウェアに関する保証は、弊社が行う上記（1）の範囲に限られ、開発元である第三者は本ソフトウェアに関する一切の保証を行いません。
9. ハイセイフティ
   本ソフトウェアは、一般事務用、パーソナル用、家庭用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本ソフトウェアを使用しないものとします。ハイセイフティ用途とは、下記の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

   記

   原子力核制御、航空機飛行制御、航空交通管制、大量輸送運行制御、生命維持、兵器発射制御など

富士通株式会社

マイクロソフト製品サービスパック

Microsoft® Windows® をご利用のお客様がより安定したシステムを運用していく上で、マイクロソフト社はサービスパックを提供しております（http://www.microsoft.com/japan/）。
お客様は、最新のサービスパックをご利用いただくことにより、その時点でマイクロソフト社が提供する Microsoft® Windows® にて最も安定したシステムを構築できます。
したがいまして、当社としては、最新のサービスパックをご利用いただくことを基本的には推奨いたします。
ただし、お客様の環境によっては、サービスパック適用により予期せぬ不具合が発生する場合もありますので、ご利用前にはサービスパックの「Readme.txt」を必ずご確認ください。
また、万一、インストールに失敗したことを考慮し、システムのバックアップを取ることを推奨いたします。

データのバックアップについて

本製品に記録されたデータ（基本ソフト、アプリケーションソフトも含む）の保全については、お客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。また、修理を依頼される場合も、データの保全については保証されませんので、事前にお客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。データが失われた場合でも、保証書の記載事項以外は、弊社ではいかなる理由においても、それに伴う損害やデータの保全・修復などの責任を一切負いかねますのでご了承ください。

添付の CD-ROM などは大切に保管してください

これらのディスクは、本パソコンに入っているソフトウェアをご購入時と同じ状態に戻すときに必要です。

液晶ディスプレイの特性について

以下は、液晶ディスプレイの特性です。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

- 液晶ディスプレイは非常に精度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや、常時点灯するドットが存在する場合があります（有効ドット数の割合は 99.99%以上です。有効ドット数の割合とは「対応するディスプレイの表示しうる全ドット数のうち、表示可能なドット数の割合」を示しています）。
- 本製品で使用している液晶ディスプレイは、製造工程により、各製品で色合いが異なる場合があります。また、温度変化などで多少の色むらが発生する場合があります。
- 長時間同じ表示を続けると残像となることがあります。残像は、しばらく経つと消えます。この現象を防ぐためには、省電力機能を使用してディスプレイの電源を切るか、スクリーンセーバーの使用をお勧めします。
- 表示する条件によってはムラおよび微少な斑点が目立つことがあります。

本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。
お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。
ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

- 原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

注 意

本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。本製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
本製品は、マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

24 時間以上の連続使用について

本製品は、24 時間以上の連続使用を前提とした設計にはなっておりません。

本製品の使用環境は、温度 10 ～ 35 ℃／湿度 20 ～ 80%RH（動作時）、温度 -10 ～ 60 ℃／湿度 20 ～ 80%RH（非動作時）です（ただし、動作時、非動作時とも結露しないこと）。

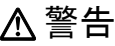
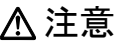
本製品は、国内での使用を前提に作られています。海外での使用につきましては、お客様の責任で行っていただくようお願いいたします。

本製品は日本国内仕様であり、海外での保守サービスおよび技術サポートは行っておりません。

本製品には、“外国為替及び外国貿易法”に基づく特定貨物が含まれています。したがって、本製品を輸出する場合には、同法に基づく許可が必要となる場合があります。

本製品は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。
（社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

本製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品です。

本パソコンは電気・電子機器の特定の化学物質＜鉛、六価クロム、水銀、カドミウム、ポリブロモビフェニル、ポリブロモジフェニルエーテルの 6 物質＞の含有表示を規定する JIS 規格「J-Moss」において、化学物質の含有率が基準値以下であることを示す「グリーンマーク（非含有マーク）」に対応しています。
本パソコンにおける特定の化学物質（6 物質）の詳細含有情報は、下記 URL をご覧ください。
http://www.fmworld.net/biz/fmv/jmoss/

本製品の構成部品（プリント基板、CD/DVD ドライブ、ハードディスクなど）には、微量の重金属（鉛、クロム）や化学物質（アンチモン、シアン）が含有されています。

エネルギー消費のお知らせ

本製品の消費電力や定格電流に関する情報は、「FMV マニュアル」または「ドライバーズディスク」（K3240 のみ）内にある『製品ガイド』の「技術情報」－「仕様一覧」をご覧ください。

警告表示について

このマニュアルでは、いろいろな絵表示を使っています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害のみが発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使っています。

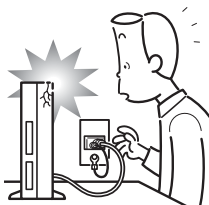
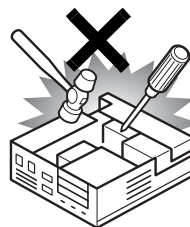
⚠	△で示した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
⃠	⃠で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
●	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

安全上のご注意

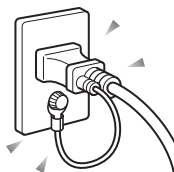
本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、必ずお読みになり、正しく安全に、大切に取り扱ってください。
また、本製品をお使いになるときは、マニュアルをよくお読みになり、正しくお使いください。

■異常や故障のとき

⚠警告

パソコン本体の内部に水などの液体や金属片などの異物が入った場合は、すぐにパソコン本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
その後、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。
そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

本製品を落としたり、カバーなどを破損したときは、パソコン本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
その後、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。
そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

本製品をお客様ご自身で改造しないでください。また、マニュアル等で指示がある場合を除いて分解しないでください。
感電・火災の原因となります。
修理や点検などが必要な場合は、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。

⚠注意

液晶ディスプレイが破損し、液状の内容物が流出して皮膚に付着した場合は、流水で15分以上洗浄してください。また、目に入った場合は、流水で15分以上洗浄した後、医師に相談してください。
中毒を起こすおそれがあります。
液晶ディスプレイの内部には、刺激性物質が含まれています。

■設置されるとき

⚠警告

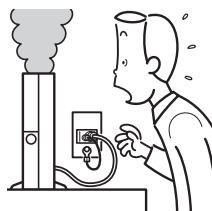
電源プラグをコンセントに差し込む前に、必ずアース線をコンセントのアースネジへ接続してください。

安全のため、電源プラグにはアース線がついています。アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、感電の原因となります。

アースネジ付のコンセントが利用できない場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご相談ください。

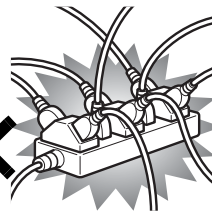
電源コードを抜くときは、先に電源プラグを抜いてからアース線を外してください。

アース線はガス管には絶対に接続しないでください。

火災の原因となります。

本製品は主電源コンセントの近くに設置し、遮断装置（電源プラグ）へ容易に手が届くようにしてください。

万一、機器から発熱や煙、異臭や異音がするなどの異常が発生したときは、ただちに機器本体の電源プラグをコンセントから抜いてください。

その後、異常な現象がなくなるのを確認して、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。

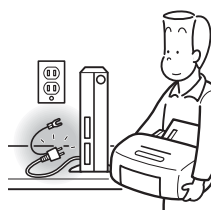
異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因となります。

電源プラグは、壁のコンセント（AC100V）に直接かつ確実に接続してください。また、タコ足配線をしないでください。

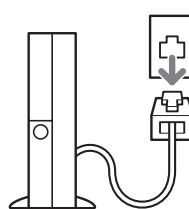
感電・火災の原因となります。

矩形波が出力される機器（UPS（無停電電源装置）や車載用AC電源等）に接続しないでください。

火災の原因となることがあります。

添付もしくは指定された以外のACアダプタや電源ケーブルを本製品に使ったり、本製品に添付のACアダプタや電源ケーブルを他の製品に使ったりしないでください。

感電・火災の原因となります。

周辺機器の取り付けや取り外しを行うときは、パソコン本体および接続されている機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。

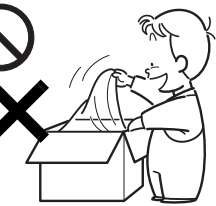
この手順を守らずに作業を行うと、感電・火災または故障の原因となります。

メモリの取り付けや取り外しを行うときなど、本体カバーをあける場合は、パソコン本体および接続されている機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後、しばらく経ってから本体カバーを開けてください。また、電話回線からモジュラーケーブルが接続されている場合、モジュラーケーブルも取り外してください。

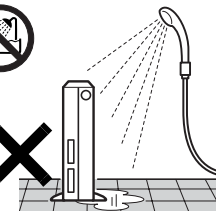
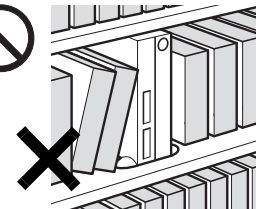
電話回線から着信があった場合、または落雷が起きた場合に感電の原因となります。

周辺機器のケーブルは、このマニュアルをよく読み、正しく接続してください。

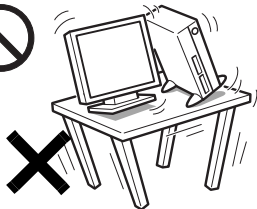
誤った接続状態でお使いになると、感電・火災の原因となります。また、パソコン本体および周辺機器が故障する原因となります。

取り外したカバー、キャップ、ネジ、電池などの部品は、小さなお子様の手の届かないところに置いてください。

誤って飲み込むと窒息の原因となります。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

梱包に使用している袋類は、お子様の手の届くところに置かないでください。

口に入れたり、頭にかぶったりすると、窒息の原因となります。

本製品を風呂場やシャワー室など、水のかかるおそれのある場所で使用したり、置いたりしないでください。

感電・火災の原因となります。

本製品を風通しの悪い場所、火気のある場所、引火性ガスの発生する場所で使用したり、置いたりしないでください。

火災の原因となります。

振動している場所や傾いたところなどの不安定な場所に置かないでください。

本製品が倒れたり、落下して、けがの原因となります。

⚠注意

指定外の機器をパソコン本体に接続して電源を取らないでください。

火災・故障の原因となることがあります。

周辺機器などの取り付け、取り外しを行う際は、指定された場所以外のネジは外さないでください。

指定された場所以外のネジを外すと、けがをするおそれがあります。また、故障の原因となることがあります。

本製品を調理台や加湿器のそば、ほこりの多い場所などで使用したり、置いたりしないでください。

感電・火災の原因となることがあります。

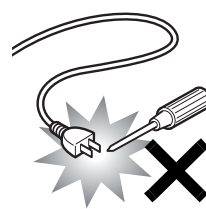
本製品を直射日光があたる場所、閉めきった自動車内、ストーブのような暖房器具のそばで使用したり、置いたりしないでください。

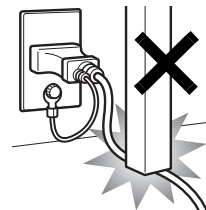
感電・火災の原因となることがあります。また、破損や故障の原因となることがあります。

本製品を移動する場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブルなども外してください。作業は足元に充分注意して行ってください。

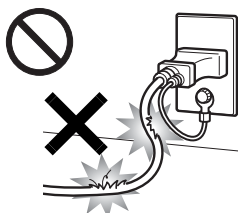
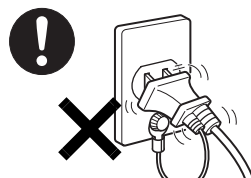
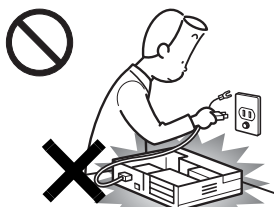
電源ケーブルが傷つき、感電・火災の原因となったり、本製品が落下したり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

■ご使用になるとき

⚠警告

ACアダプタの電源プラグに、ドライバーなどの金属を近づけないでください。

火災・感電の原因となります。

電源ケーブルを傷つけたり、加工したりしないでください。

重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりすると電源ケーブルを傷め、感電・火災の原因となります。

修理は、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。

ACアダプタの本体やケーブル、電源コード、電源プラグが傷ついている場合は使用しないでください。

感電・火災の原因となります。

本体カバーを外した状態で電源プラグをコンセントに差し込んだり、電源を入れたりしないでください。

感電・火災の原因となります。

雷が鳴り出したときは、落雷の可能性がなくなるまでパソコン本体やケーブル類に触れないでください。ケーブル類の接続作業は、落雷の可能性がなくなるまで行わないでください。

落雷の可能性がある場合は、あらかじめパソコン本体の電源を切り、その後電源コードをコンセントから抜き、ケーブル類を取り外しておいてください。

落雷による感電・火災の原因となります。

電源プラグを抜くときは電源ケーブルを引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜いてください。

電源ケーブルを引っ張ると、電源ケーブルの芯線が露出したり断線したりして、感電・火災の原因となることがあります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

感電の原因となります。

ACアダプタや電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込み、不完全な接続状態で使用しないでください。

火災・故障の原因となることがあります。

開口部（通風孔など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。

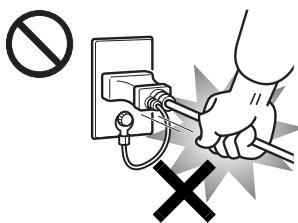
感電・火災の原因となります。

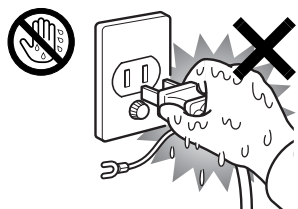
本製品の上や周りに、花びん・コップなど液体の入ったものを置かないでください。

水などの液体が本製品の内部に入って、感電・火災の原因となります。

本パソコンの内部に搭載されているリチウム電池には触らないでください。

取り扱いを誤ると、人体に影響を及ぼすおそれがあります。

リチウム電池はご自身で交換せずに、「富士通ハードウェア修理相談センター」にご相談ください。

本製品をご使用になる場合には、部屋を明るくして、画面からできるだけ離れてください。

お使いになる方の体質や体調によっては、強い光の刺激を受けたり、点滅の繰り返しによって一時的な筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす場合がありますので、ご注意ください。

過去にこのような症状を起こしたことがある場合は、事前に医師に相談してください。

また、本製品をご使用中にこのような症状を発症した場合には、すぐに本製品の使用を中止し、医師の診断を受けてください。

パソコン本体やACアダプタの温度が高くなる場所に長時間直接触れて使用しないでください。

低温やけどの原因になります。

注意

電源ケーブルを束ねた状態で使用しないでください。

発熱して、火災の原因となることがあります。

本製品の上に重いものを置かないでください。

故障・けがの原因となります。

フロッピーディスクや CD/DVD、PC カードなどのトレイやスロット、モデムや LAN のコネクタなど、本製品の開口部に、手や指を入れないでください。

けが・感電の原因となることがあります。

パソコン本体内部の突起物、および指定されたスイッチ以外には、手を触れないでください。

けがをするおそれがあります。また、故障の原因となることがあります。

使用中のパソコン本体や AC アダプタを布などでおおったり、包んだりしないでください。設置の際はパソコン本体と壁の間に 10cm 以上のすき間をあけ、通気孔などの開口部をふさがないでください。また、通気孔が目詰まりしないように、掃除機などで定期的にほこりを取ってください。

内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

ヘッドホンやイヤホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないでください。

耳を刺激するような大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与える原因となることがあります。

電源を入れたり切ったりする前には音量を最小にしておいてください。また、ヘッドホンやイヤホンをしたまま、電源を入れたり切ったりしないでください。

突然大きな音や刺激音が出て、聴力に悪い影響を与える原因となることがあります。

本製品をお使いになる場合は、次のことに注意し、長時間使い続けるときは 1 時間に 10 ～ 15 分の休憩時間や休憩時間の間の小休止を取るようにしてください。

本製品を長時間使い続けると、目の疲れや首・肩・腰の痛みなどを感じる原因となることがあります。画面を長時間見続けると、「近視」「ドライアイ」等の健康障害の原因となることがあります。

- 画面の位置や角度、明るさなどを見やすいように調節する。
- なるべく画面を下向きに見るように調整し、意識的にまばたきをする。場合によっては目薬をさす。
- 背もたれのあるいすに深く腰かけ、背筋を伸ばす。
- いすの高さを、足の裏全体がつく高さに調節する。
- 手首や腕、肘は机やいすの肘かけなどで支えるようにする。
- キーボードやマウスは、肘の角度が 90 度以上になるように使用する。

本製品を長期間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

火災の原因となることがあります。

■お手入れについて

⚠ 警告

ACアダプタや電源プラグはコンセントから定期的に抜いて、コンセントとの接続部分のほこりやゴミを乾いた布でよくふき取ってください。

ほこりがたまったままの状態で使用すると感電・火災の原因となります。

■レーザーの安全性について
（CD/DVDドライブ搭載機種のみ）

□CD/DVD ドライブの注意

本製品に搭載されている CD/DVD ドライブは、レーザーを使用しています。

□クラス 1 レーザー製品

CD/DVDドライブは、クラス1レーザー製品について規定している米国の保健福祉省連邦規則（DHHS 21 CFR） Subchapter Jに準拠しています。

また、クラス 1 レーザー製品の国際規格である（IEC 60825-1）、CENELEC 規格（EN 60825-1）および、JIS 規格（JISC6802）に準拠しています。

⚠ 警告

本製品は、レーザー光線を装置カバーで遮断する安全な構造になっていますが、次のことにご注意ください。

- **光源部を見ないでください。**
  CD/DVD ドライブのレーザー光の光源部を直接見ないでください。
  また、万一の故障で装置カバーが破損してレーザー光線が装置外にもれた場合は、レーザー光線を覗きこまないでください。
  レーザー光線が直接目に照射されると、視力障害の原因となります。
- **お客様自身で分解したり、修理・改造しないでください。**
  レーザー光線が装置外にもれて目に照射されると、視力障害の原因となります。

■その他

⚠ 注意

本製品（付属品を含む）の廃棄については、マニュアルの説明に従ってください。

本製品は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

ワイヤレスキーボード、ワイヤレスマウスなどには乾電池を使用しており、一般のゴミと一緒に火中に投じられると乾電池が破裂するおそれがあります。

使用済み乾電池の廃棄については、マニュアルの説明に従ってください。

本書の表記

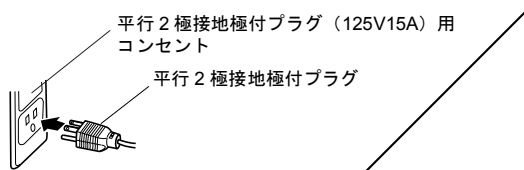
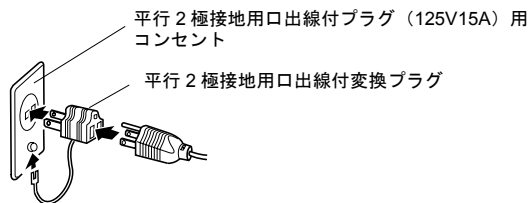
■電源プラグとコンセント形状の表記について

本パソコンに添付されている電源ケーブルの電源プラグは「平行 2 極接地極付プラグ」です。接続先のコンセントには「平行 2 極接地極付プラグ（125V15A）用コンセント」または「平行 2 極接地用口出線付プラグ（125V15A）用コンセント」をご利用ください。

「平行 2 極接地用口出線付プラグ（125V15A）用コンセント」をご利用の場合は、添付の「平行 2 極接地用口出線付変換プラグ（2P 変換プラグ）」を取り付けてください。

※「接地用口出線」とはアース線、「接地極」とはアース部分のことです。

本文中では、次のように略して表記します。

名称	本文中の表記
平行 2 極接地極付プラグ	電源プラグ
平行 2 極接地極付プラグ（125V15A）用コンセント	コンセント
平行 2 極接地用口出線付プラグ（125V15A）用コンセント	2 ピンのコンセント
平行 2 極接地用口出線付変換プラグ	2P 変換プラグ

■本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
重要	お使いになる際の注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
POINT	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
→	参照ページや参照マニュアルを示しています。

■キーの表記と操作方法

本文中のキーの表記は、キーボードに書かれているすべての文字を記述するのではなく、説明に必要な文字を次のように記述しています。

例：【Ctrl】キー、【Enter】キー、【→】キーなど

また、複数のキーを同時に押す場合には、次のように「＋」でつないで表記しています。

例：【Ctrl】+【F3】キー、【Shift】+【↑】キーなど

■コマンド入力（キー入力）

本文中では、コマンド入力を次のように表記しています。

```
diskcopy  a:  a:
         ↑   ↑
```

・↑の箇所のように文字間隔を空けて表記している部分は、【Space】キーを 1 回押してください。
また、上記のようなコマンド入力を英小文字で表記していますが、英大文字で入力してもかまいません。

・CD/DVD ドライブなどのドライブ名を、［CD/DVD ドライブ］で表記しています。入力の際は、お使いの環境に合わせて、ドライブ名を入力してください。

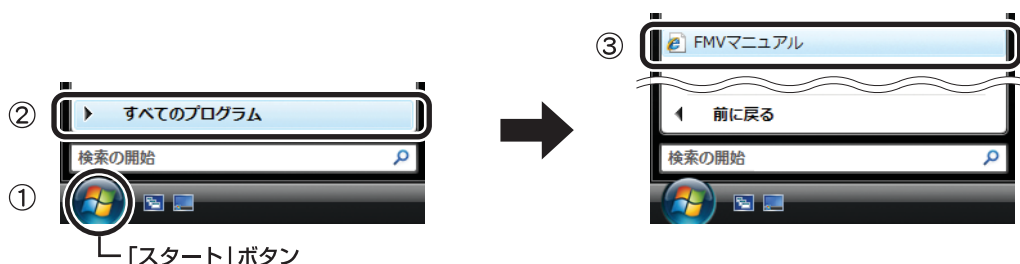
例：[CD/DVD ドライブ]:¥setup.exe

■連続する操作の表記

本文中の操作手順において、連続する操作手順を、「→」でつなげて記述しています。

例：①「スタート」ボタンをクリックし、②「すべてのプログラム」をポイントし、③「FMV マニュアル」をクリックする操作

↓

「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「FMV マニュアル」の順にクリックします。

■画面例およびイラストについて

表記されている画面およびイラストは一例です。お使いの機種やモデルによって、実際に表示される画面やイラスト、およびファイル名などが異なることがあります。また、このマニュアルに表記されているイラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

■カスタムメイドオプションについて

本文中の説明は、すべて標準仕様に基づいて記載されています。

そのため、カスタムメイドで選択のオプションを取り付けている場合、メモリ容量やハードディスク容量などの記載が異なります。ご了承ください。

■FMV バリューシリーズについて

本文中の説明は、お使いのモデルの仕様とは異なる情報が記載されている場合があります。FMV バリューシリーズで選択したモデルの仕様に読み替えてご覧ください。

■製品名の表記

本文中では、製品名称を次のように略して表記します。

<table>
<tr><th>製品名称</th><th colspan="2">本文中の表記</th></tr>
<tr><td>FMV-K5240</td><td colspan="2">本パソコン／パソコン本体</td></tr>
<tr><td>FMV-K3240</td><td>FMV バリューシリーズ</td><td>本パソコン／パソコン本体</td></tr>
<tr><td>Windows Vista™ Business</td><td>Windows Vista</td><td>Windows</td></tr>
<tr><td>Norton AntiVirus™ 2007</td><td colspan="2">Norton AntiVirus</td></tr>
<tr><td>InterVideo WinDVD™ 8</td><td colspan="2">WinDVD</td></tr>
</table>

■お問い合わせ先／ URL

本文中に記載されているお問い合わせ先やインターネットの URL アドレスは 2007 年 4 月現在のものです。変更されている場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」へお問い合わせください（→「お問い合わせ先について」）。

警告ラベル／注意ラベル

本製品には警告ラベルおよび注意ラベルが貼ってあります。

警告ラベルや注意ラベルは、絶対にはがしたり、汚したりしないでください。

ユーザー登録について

本製品のユーザー登録は、富士通製品情報ページ（http://www.fmworld.net/biz/）から行うことができます。

1. 必ずお読みください

疲れにくい使い方

パソコン作業を続けていると、目が疲れ、首や肩や腰が痛くなることがあります。その主な原因は、長い時間同じ姿勢でいることや、近い距離で画面やキーボードを見続けることです。パソコンをお使いの際は疲労に注意し、適切な環境で作業してください。

- ●ブラインドやカーテンで、外光が直接目に入ったり画面に映り込んだりしないようにする。
- ●目は画面から 40cm 以上離し、画面の高さは水平より下になるようにする。
- ●作業中は、1 時間に 10 分～ 15 分程度の休憩をとる。
- ●肘かけや背もたれのついた椅子を使用し、座面の高さを調節する。
- ●パソコンの周りや足元には、充分なスペースを確保する。

パソコンをお使いになるときの姿勢や環境について、さらに詳しい説明が「FMV マニュアル」または「ドライバーズディスク」（K3240 のみ）内にある『製品ガイド』の「ハードウェア」－「疲れにくい使い方」に記載されています。あわせてご覧ください。

使用上のお願い

- ●周辺機器は、弊社純正品をお使いください。

落雷のおそれがあるときの注意

落雷の可能性がある場合は、パソコンの電源を切るだけでなく、すべてのケーブル類を抜いておくことをお勧めします。
落雷には、直撃雷と誘導雷の 2 種類ありますが、パソコンの故障は主に誘導雷によって起こります。雷により周囲に強力な電磁場ができると発生し、電線や電話線などから侵入するのが誘導雷です。パソコンの場合、電源ケーブル、外部機器との接続ケーブル、LAN ケーブルなどからの誘導雷の侵入が考えられます。直撃雷は避雷針によって雷を誘導して対象物を保護できますが、誘導雷を防ぐにはケーブル類を抜くなどの対策が必要です。
場合によっては、パソコン本体だけでなく、周辺機器などが故障することもあります。故障の状況によっては、修理費用が高額になることもあるので、ご注意ください。

設置について

本パソコンの設置場所、設置方法を説明します。

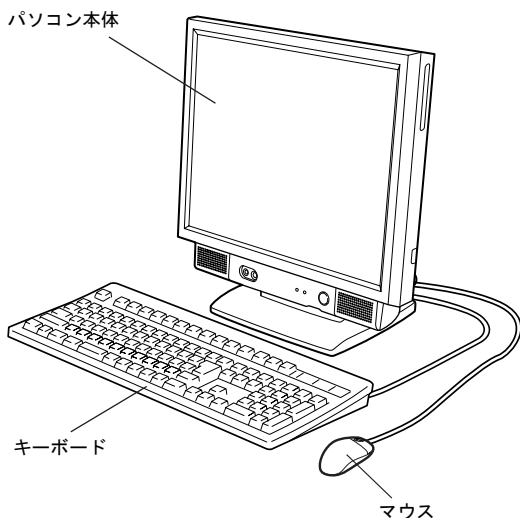
使用および設置に適さない場所

- ●湿気やほこり、油煙の多い場所
- ●通気性の悪い場所
- ●火気のある場所
- ●風呂場、シャワー室などの水のかかる場所
- ●台所などの油を使用する場所の近く
- ●直射日光の当たる場所や、暖房器具の近くなど、高温になる場所
- ●電源ケーブルなどのケーブルが足にひっかかる場所
- ●テレビやスピーカーの近くなど、強い磁界が発生する場所
- ●振動の激しい場所や傾いた場所など、不安定な場所
- ●車、飛行機、船など、輸送機器への設置
- ●極端に高温または低温になる場所
- ●腐食性ガス（温泉から出る硫黄ガスなど）が出る場所
- ●結露する場所

POINT

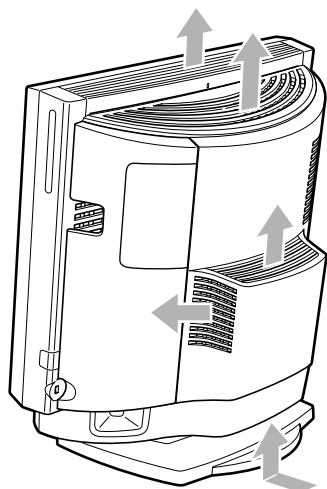
- ▶ 本パソコンの使用環境は温度 10 ～ 35 ℃／湿度 20 ～ 80%RH（動作時）、温度 -10 ～ 60 ℃／湿度 20 ～ 80%RH（非動作時）です。
- ▶ 結露は、空気中の水分が水滴になる現象です。温度の低い場所（クーラーの効いた場所、寒い屋外など）から、温度の高い場所（暖かい室内、炎天下の屋外など）へ移動した時に起こります。結露が発生すると故障の原因となりますので、ご注意ください。
- ▶ 本パソコンのそばで喫煙すると、タバコのヤニや煙がパソコンの内部に入り、CPU ファンなどの機能を低下させる可能性がありますので、ご注意ください。
- ▶ パソコン本体と壁の間に 10cm 以上のすき間をあけ、通気孔などの開口部をふさがないでください。

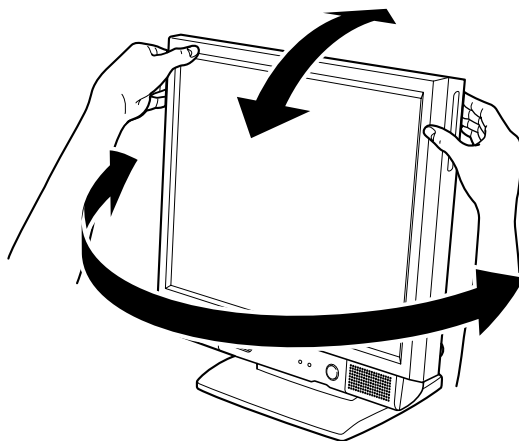
設置例

本パソコンは次のように設置してください。設置の際は、パソコン本体背面や上面、側面にある通風孔をふさがないように注意してください。通風孔の空気の流れについては、「空気の流れ」（→ P.15）をご覧ください。

POINT

- キーボードとマウスのケーブルは、台座（チルト部）やスイーベルに噛み込まれないように、離して設置してください。

■空気の流れ

本パソコンの空気の流れは次の図のとおりです。

パソコン本体の向きと角度の調節

パソコン本体の向きと角度を調節できます。パソコン本体の上部を左右両方とも持ち、矢印の向きに動かして調節してください。

POINT

- 調節の際は、台座（チルト部）やスイーベルに指などをはさんだりしないようご注意ください。また、キーボードとマウスのケーブルが噛み込まれないように、離して設置してください。

パソコン本体取り扱い上の注意

- 液晶部分を拭くときは、乾いた柔らかい布かメガネ拭きをお使いください。
  市販のクリーナーを使うと、成分によっては、画面の表面のコーティングを傷めるおそれがあります。次のものは、使わないでください。
  - アルカリ性成分を含んだもの
  - 界面活性剤を含んだもの
  - アルコール成分を含んだもの
  - シンナーやベンジンなどの揮発性の強いもの
  - 研磨剤を含むもの
  - 化学ぞうきん

接続について

パソコン本体に、キーボード、マウス、電源ケーブルなどを接続します。

⚠ 警告

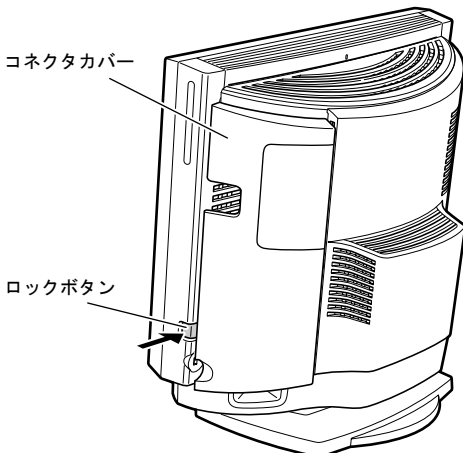
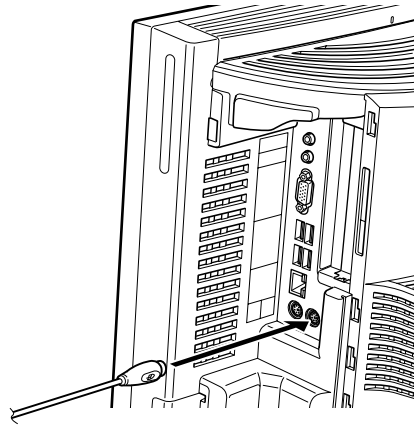
- キーボード、マウス、電源ケーブルの取り付けや取り外しを行う場合は、パソコン本体および接続されている周辺機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。
  この手順を守らずに作業を行うと、感電・火災または故障の原因となります。

⚠ 注意

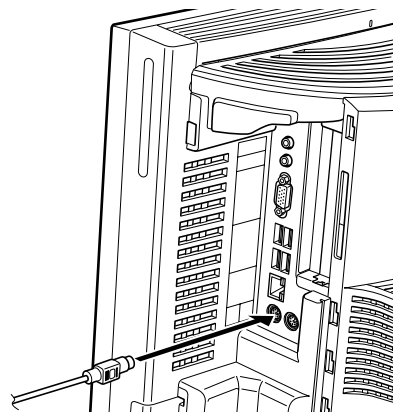
- ケーブルは、このマニュアルを読み、正しく接続してください。
  誤った接続状態でお使いになると、感電・火災の原因となります。また、パソコン本体および周辺機器が故障する原因となります。

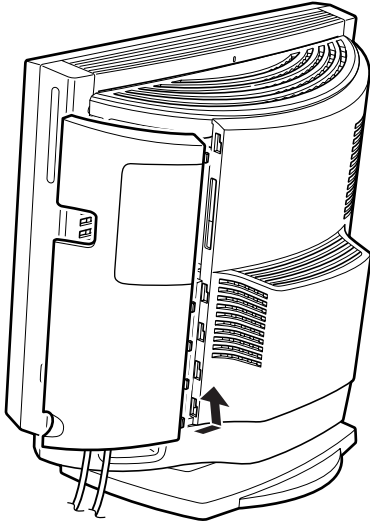
- 本パソコンを移動する場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブルなども外してください。作業は足元に充分注意して行ってください。
  電源ケーブルが傷つき、感電・火災の原因となったり、本パソコンが落下したり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

キーボード／マウス／電源ケーブルを接続する

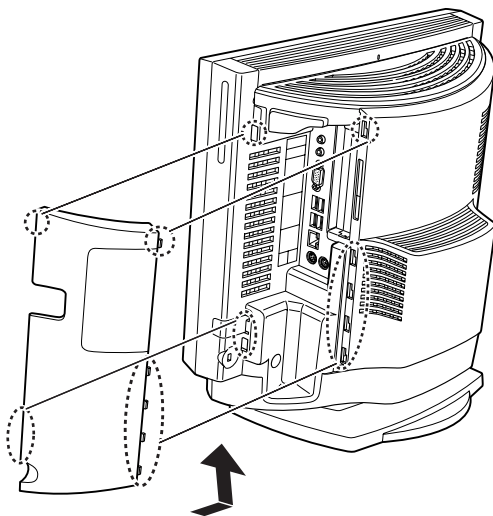
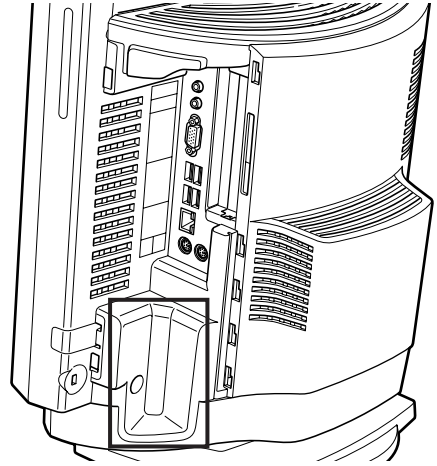
1 パソコン本体右側面のコネクタカバーを取り外します。
コネクタカバーを押さえながらロックボタンを押します。

2 マウスを接続します。
マウスケーブルのコネクタに刻印されているマークの面を手前に向けて、マウスコネクタの色とパソコン本体右側面のマウスラベルの色が合うように接続します。

POINT

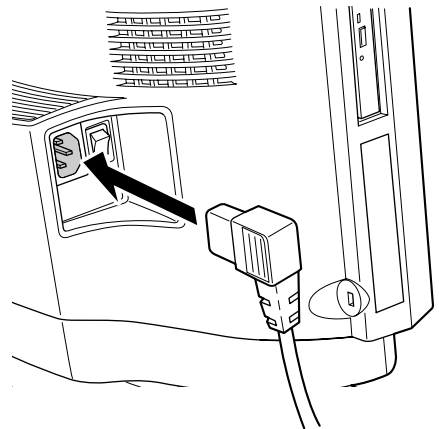
▶ USBマウス（光学式）をお使いになる場合は、パソコン本体右側面のUSBコネクタに接続します。このとき、コネクタの形を互いに合わせ、まっすぐに差し込んでください。

3 キーボードを接続します。
キーボードケーブルのコネクタに刻印されているマークの面を手前に向けて、キーボードコネクタの色とパソコン本体右側面のキーボードラベルの色が合うように接続します。

4 コネクタカバーをパソコン本体に取り付けます。

コネクタカバーのツメ（8ヶ所）を、パソコン本体のツメ穴（8ヶ所）に合わせて取り付け、上にスライドします。

重要

▶ コネクタカバーを取り付けるときは、ツメとツメ穴をあわせてください。

・コネクタカバーのすべてのツメがパソコン本体のツメ穴に入っていることを確認してください。次の図の丸で囲んだ部分がツメとツメ穴です。

・ケーブルを次の図の四角で囲んだ枠の中に収めてから、コネクタカバーを取り付けてください。

・コネクタカバーでケーブルをはさまないように気をつけてください。

5 電源ケーブルのプラグをパソコン本体左側面のインレットに接続します。

6 電源ケーブルの電源プラグをコンセント（AC100V）に接続します。

警告

● 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。

● 電源ケーブルを傷つけたり、加工したりしないでください。
重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりすると電源ケーブルを傷め、感電・火災の原因となります。
修理は、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。

- ACアダプタの本体やケーブル、電源コード、電源プラグが傷ついている場合は使用しないでください。
  感電・火災の原因となります。

- ACアダプタや電源プラグはコンセントから定期的に抜いて、コンセントとの接続部分のほこりやゴミを乾いた布でよくふき取ってください。
  ほこりがたまったままの状態で使用すると感電・火災の原因となります。

- ACアダプタや電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込み、不完全な接続状態で使用しないでください。
  火災・故障の原因となることがあります。

- 電源プラグは、壁のコンセント（AC100V）に直接かつ確実に接続してください。また、タコ足配線をしないでください。
  感電・火災の原因となります。

- 近くで落雷のおそれがある場合は、パソコン本体の電源を切り、その後電源コードをコンセントから抜いてください。
  そのまま使用すると、落雷による感電・火災の原因となります。

- 電源プラグをコンセントに差し込む前に、必ずアース線をコンセントのアースネジへ接続してください。
  安全のため、電源プラグにはアース線がついています。アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、感電の原因となります。
  アースネジ付のコンセントが利用できない場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご相談ください。

⚠注意

- 電源プラグを抜くときは電源ケーブルを引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜いてください。
  電源ケーブルを引っ張ると、電源ケーブルの芯線が露出したり断線したりして、感電・火災の原因となることがあります。

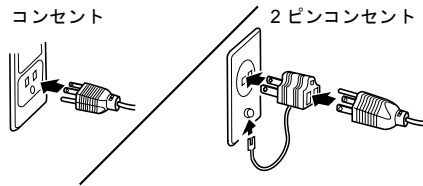
- 本パソコンを長期間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
  火災の原因となることがあります。

電源プラグを、コンセントに接続します。

■ コンセントの場合

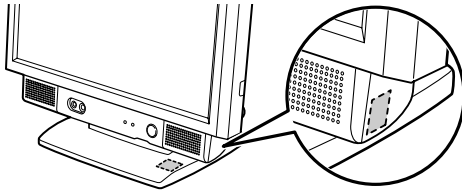
電源プラグをコンセントに接続してください。

■ 2ピンのコンセントの場合

2P変換プラグに付いているアース線を、アース端子のネジにネジ止めします。その後、添付の2P変換プラグを取り付けてコンセントに接続してください。

POINT

- 電源ケーブルはキーボードケーブルやマウスケーブルとからまないようにしてください。

USB 延長ケーブルについて

添付の USB 延長ケーブルを使用する場合は、添付のクリップをパソコン本体前面または側面に取り付けて、USB 延長ケーブルを固定してください。

重 要

- クリップを取り付ける前に、パソコン本体前面または側面のマジックテープを貼る箇所の汚れを拭き取ってください。
- クリップを取り付け後、1 日程クリップをパソコン本体に取り付けた状態にしておいてください。すぐにクリップに力をかけるような作業をすると、クリップがパソコン本体からはがれてしまうおそれがあります。
- USB 延長ケーブルに USB 機器を取り付けたり取り外したりするときは、USB 延長ケーブルのコネクタを持ってください。USB 延長ケーブルのコネクタを持たずにUSB機器の取り付けや取り外しをすると、USB延長ケーブルおよびコネクタを破損するおそれがあります。
- USB延長ケーブルには、USBメモリなどのケーブルレスの機器や、各 USB 機器に添付されているケーブルを接続してください。延長ケーブルを追加したり、別途ご購入されたケーブルなどは、お使いにならないでください。
  また、USB 延長ケーブルに接続した USB 機器の動作が安定しない場合は、パソコン本体の USB コネクタに直接 USB 機器を接続してください。

電源を入れる

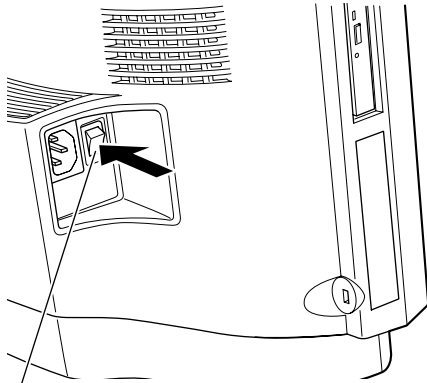
注意事項

- ご購入後、初めて電源を入れる場合は、周辺機器の取り付けなどを行わないでください。
- 電源／スタンバイランプは、スリープ状態になるとオレンジ色に点灯します。
- 電源を入れた後すぐに電源を切る場合は、Windows が起動してから「電源を切る」（→ P.23）に従って電源を切ってください。
- 画面表示の開始や表示モードが切り替わるとき、一時的に画面が乱れたり、横線が見えることがあります（Windows の起動・終了画面、省電力モードからの復帰時など）。これは故障ではありませんので、そのままお使いください。
- 電源を入れた後、ディスプレイに「FUJITSU」ロゴが表示されている間に、本パソコンは、パソコン内部をチェックする「自己診断（POST：Power On Self Test）」を行います。自己診断（POST）中は電源を切らないでください。自己診断（POST）の結果、異常があればエラーメッセージが表示されます。エラーメッセージについては「FMV マニュアル」または「ドライバーズディスク」（K3240 のみ）内にある『製品ガイド』をご覧ください。
- システム起動時（開封契約時を含む）やシステム終了時、または「Norton AntiVirus」のウィンドウが表示される瞬間に、一瞬帯状に画面が乱れることがあります。故障ではありませんので、そのままお使いください。
- 周辺機器の取り付けなどのとき、本体カバーを取り外したまま電源を入れないでください。
- 電源を切った後すぐに電源を入れる場合は、10 秒以上時間をあけてください。
- 画面に何も表示されないときは、次のことを確認してください。
  - パソコン本体左側面のメインスイッチはオンになっていますか。
  - 省電力モードが設定されていませんか。
    マウスを動かすか、どれかキーを押してください。スタンバイランプがオレンジ色になっている場合、ACPI モードの S3 に移行している可能性があります。電源ボタンを押してください。電源ボタンを押してから 30 秒以上たっても画面に何も表示されない場合、電源ボタンを 4 秒以上押し続けて、電源を一度切ってください。
  - パソコン本体のブライトネスボリュームは、正しく調節されていますか。ブライトネスボリュームで画面の明るさを調節してください。

電源の入れ方

⚠注意

- 電源を入れた状態で持ち運んだり、衝撃や振動を与えたりしないでください。
  故障の原因となります。

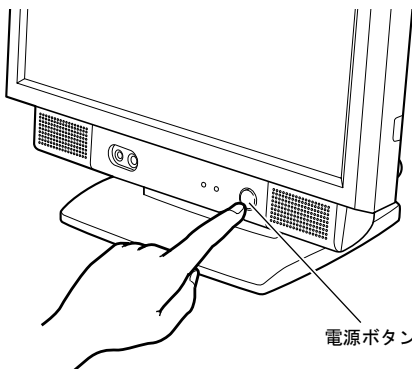
1 パソコン本体左側面のメインスイッチを「｜」側に切り替えます。

POINT

▶ 一度「｜」側に切り替えたら、本パソコンを起動するたびに切り替える必要はありません。

2 パソコン本体の電源ボタンを押します。

電源ランプが緑色に点灯します。

電源が入ると、ディスプレイに「FUJITSU」ロゴが表示され、その後システムが起動します。

ご購入後、初めて電源を入れると、Windows のセットアップ画面が表示されます。その場合は、「セットアップ」（→ P.21）をご覧になり、操作を続けてください。

セットアップ

初めて電源を入れた後に行うWindowsの初期設定（Windowsセットアップ）について説明します。必ず、本書の手順に従って操作してください。

次の「注意事項」をよくお読みになり、電源を入れて Windows セットアップを始めます。

注意事項

- Windows セットアップを行う前は、次の点にご注意ください。
  - ・周辺機器を取り付けないでください。
  - ・LAN ケーブルを接続しないでください。
  - ・オプションカードをセットしないでください。
  - ・BIOS をご購入時の設定から変更しないでください。

  Windows セットアップが正常に行われなかったり、エラーメッセージが表示される場合があります。
  上記の項目は、セットアップを行い、「必ず実行してください」を実行してから、行うようにしてください。
- Windowsセットアップの各ウィンドウが完全に表示されないうちにキーを押すと、Windows セットアップが完全に行われない場合があります。ウィンドウが完全に表示されてから、キーボードまたはマウスで操作してください。
- セットアップ中は、電源を切らないでください。
- Windowsセットアップが進められなくなったときは、「セットアップで困ったときは」（→ P.23）をご覧ください。

Windows Vista セットアップ

1 本パソコンの電源を入れます（→ P.19）。
そのまましばらくお待ちください。
本パソコンが再起動し、「Windows のセットアップ」ウィンドウが表示されます。

重 要

- この間、一時的に画面が真っ暗な状態が続いたり（1 〜 3 分程度）、画面に変化がなかったりすることがありますが、故障ではありません。
  絶対に電源を切らずにそのままお待ちください。途中で電源を切ると、Windows が使えなくなる場合があります。数分後に次の「Windows のセットアップ」ウィンドウが表示されるまで、電源を切らずにそのままお待ちください。

2 「次へ」をクリックします。
「ライセンス条項をお読みになってください」が表示されます。
「ライセンス条項」は、本パソコンにあらかじめインストールされている Windows を使用するうえでの契約を記述したものです。

3 「ライセンス条項」をよく読み、2ヶ所の「ライセンス条項に同意します」にチェックをつけて、「次へ」をクリックします。
「ユーザー名と画像の選択」と表示されます。

4 ユーザー名とパスワードを入力し、お好みの画像を選択して、「次へ」をクリックします。
「コンピュータ名を入力して、デスクトップの背景を選択してください。」と表示されます。

POINT

- ユーザー名は半角のアルファベットや数字で入力してください。
- パスワードでは大文字／小文字が区別されます。

5 お好みのデスクトップの背景を選択し、「次へ」をクリックします。
「Windows を自動的に保護するよう設定してください」と表示されます。

POINT

- コンピュータ名は、ここでは変更しません。セットアップ終了後に変更してください。

6 「推奨設定を使用します」をクリックします。
「ありがとうございます」と表示されます。

7 「開始」をクリックします。
そのまましばらくお待ちください。
パスワード入力画面が表示されます。

POINT

- この間に画面が何度か変化します。パスワード入力画面が表示されるまで、お使いの機種により 5 分以上時間がかかる場合があります。

8 手順 4 で入力したパスワードを入力し、「→」をクリックします。

POINT

- 画面下の通知領域に警告が表示される場合があります。これは、ウイルス対策ソフトをインストールし、パターンファイルを最新の状態にすることで表示されなくなります。
  ウイルス対策ソフトのインストールは、「必ず実行してください」を実行してセットアップを完了させた後で、「セットアップ後」（→ P.22）をご覧になり行ってください。

9 **表示されている「必ず実行してください」ウィンドウを確認し、「実行する」をクリックします。**

「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されます。

重要

- **「必ず実行してください」を行わないと、セットアップの最終設定が行われません。必ず手順どおりに実行してください。**
- **「必ず実行してください」の実行前に「復元ポイントの作成」を行わないようにしてください。**

10 **「続行」をクリックします。**

最終設定が行われ、再起動メッセージが表示されます。

重要

- **最終設定を正しく行うために、必ず「続行」をクリックしてください。**

11 **「OK」をクリックします。**

本パソコンが再起動します。

12 **手順 4 で入力したパスワードを入力し、「→」をクリックします。**

これで、Windows セットアップが完了しました。

この後は、「セットアップ後」（→ P.22）をご覧になり、必要な操作を行ってください。

POINT

- **FMV バリューシリーズの場合、Windows の基本操作や、文字入力などについてわかりやすく説明している「なるほどパソコン入門」が「ドライバーズディスク」に格納されています。**
  基本操作などについて知りたい方は、本パソコンをお使いになる前に、一度ご覧になることをお勧めします。「なるほどパソコン入門」は「ドライバーズディスク」からインストールしてください。インストールについては、「FMV マニュアル」または「ドライバーズディスク」内にある『製品ガイド』をご覧ください。

セットアップ後

セットアップが終わったら、パソコンを使い始める前に、次の操作を行ってください。

●セキュリティ対策

ウイルス対策や不正アクセスに関する対策など、お使いのパソコンについてのセキュリティ対策は、システム管理者の指示に従い、お客様自身が責任をもって行ってください。

初めてインターネットに接続する際は、LAN などに接続してインターネットを始める前に、次のセキュリティ対策を行ってください。

1. ネットワーク管理者に確認し、LAN などの設定を行います。
2. 「Windows Update」を実行し、Windows をより安全な状態に更新します。
   「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Windows Update」をクリックし、必要な更新をインストールします。
   Office 製品をお使いの場合は、「Windows Update」ウィンドウの「他の製品の更新プログラムを取得します」をクリックすると、Windows や Office 製品などのマイクロソフト社が提供するソフトウェアの更新プログラムを入手することができます。
3. ウイルス対策ソフトをインストールし、ウイルス対策のデータファイルを最新にします。ウイルス対策ソフト「Norton AntiVirus」については、「FMV マニュアル」または「ドライバーズディスク」（K3240 のみ）内にある『製品ガイド』の「セキュリティ」－「ネットワーク接続時のセキュリティ」－「コンピュータウイルス対策」をご覧ください。

実行にあたっては、ネットワーク管理者の指示に従ってください。

なお、「FMV マニュアル」にある『製品ガイド』をご覧になるためには、インターネットに接続できる環境が必要になります。ネットワーク管理者に確認し、LAN などの設定を行ってください。

また、必要に応じて、次の操作を行ってください。

●DVD-ROM ドライブ、DVD-ROM&CD-R/RW ドライブ、スーパーマルチドライブを搭載している場合、DVD を再生するには、添付の「WinDVD」CD-ROM 内の「WinDVD」をインストールしてください。インストール方法については、添付の「WinDVD」CD-ROM 内の「¥dvd¥dvdreadme.txt」をご覧ください。

●カスタムメイドを選択している場合は、「FMV マニュアル」にある機能別のマニュアルをご覧ください。

●FMV バリューシリーズで「スタンバイ レスキュー Lite」をお使いになる場合は、「FMV マニュアル」または「ドライバーズディスク」内にある『製品ガイド』の「ソフトウェア」－「ソフトウェア一覧」をご覧になり、インストールや設定を行ってください。

●必要に応じて、ソフトウェアの追加や削除を行うことができます。ソフトウェアについては、「FMV マニュアル」ま

たは「ドライバーズディスク」(K3240 のみ)内にある『製品ガイド』の「ソフトウェア」－「ソフトウェア一覧」をご覧ください。

その他の設定については「FMV マニュアル」または「ドライバーズディスク」(K3240 のみ)内にある『製品ガイド』をご覧ください。

セットアップで困ったときは

セットアップ中に動かなくなった、など困ったことがあったときには、次の項目をご覧ください。

□Windows セットアップが進められなくなった

- 電源ボタンを 4 秒以上押し続けて、本パソコンの電源を一度切り、セットアップをやり直してください。
- 途中で電源を切ると、次に電源を入れたときに再起動を繰り返したり、「システムのインストールが完全ではありません」などのメッセージが表示され、Windows が起動しなくなることがあります。
  この場合は、「FUJITSU」ロゴが表示されているときか、またはメッセージが表示されているときに、電源ボタンを 4 秒以上押し続けて強制的に電源を切り、リカバリ操作を行ってください。

電源を切る

注意事項

- 電源を切る前に、すべての作業を終了し、データを保存してください。
- 電源を切る前に、ディスクアクセスランプやフロッピーディスクアクセスランプ(→「FMV マニュアル」または「ドライバーズディスク」(K3240 のみ)内にある『製品ガイド』)が消えていることを確認してください。点灯中に電源を切ると、作業中のデータが保存できなかったり、フロッピーディスクやハードディスク内部のデータが破壊されたりする可能性があります。
- 電源が入っている状態で、電源ケーブルをコンセントから抜いたり、停電によって電源が切断されたりした場合は、再び電源ケーブルをコンセントに差し込むか、復電した後に、電源ボタンを押して本パソコンを起動してください。
  ただし、BIOS セットアップの「Power」－「AC Power Recovery」(→「FMV マニュアル」または「ドライバーズディスク」(K3240 のみ)内にある『製品ガイド』)が「Always On」または「Last state」に設定されている場合、電源ボタンを押す必要はありません。復電すると自動的に電源が入り、本パソコンが起動します。
- 長期間お使いにならない場合は、パソコン本体左側面のメインスイッチを「○」側に切り替えてください。
- 自己診断(POST)時に電源を切らないでください。Windows が完全に起動してから、「電源の切り方」(→ P.23)に従って電源を切ってください。
- 通常の手段で電源が切れない場合や再起動できない場合、4 秒以上電源ボタンを押し続けて、電源を切ってください。ただし、電源ボタンを 4 秒以上押し続けて電源を切ると、ハードディスクを破壊するおそれがあります。緊急の場合以外は行わないでください。
- 電源を切った後すぐに電源を入れる場合は、10 秒以上時間をあけてください。
- スタンバイ状態から復帰する場合に電源/スタンバイランプが緑色に点灯するまで、5 秒程度かかることがあります。再度電源ボタンを押すと、パソコン本体がシャットダウンしますので、ご注意ください。

電源の切り方

「スタート」ボタン→ の →「シャットダウン」の順にクリックします。
Windows が終了し、本パソコンの電源が切れます。

POINT

- 上記操作で電源が切れない場合、次の手順で電源を切ってください。
  1. 【Ctrl】+【Alt】+【Delete】キーを押します。
  2. 画面右下にある をクリックし、Windows を終了します。

  それでも電源が切れない場合は、電源ボタンを 4 秒以上押し続けてください。
- 「再起動」を選択すると、本パソコンを再起動することができます。ソフトウェアをインストールした場合や、使用中のソフトウェアがなんらかの理由で動かなくなった場合などに、再起動を行います。再起動すると、メモリ内のデータが消失します。再起動する前に、必要なデータは保存してください。
- 本パソコン出荷時は、「スタート」ボタン→ (電源ボタン)の順にクリックするとスリープに移行します。スリープから復帰(レジューム)する場合は、BIOS のパスワードなどのセキュリティ機能は働きませんので、ご注意ください。

スリープする

本パソコンを使用しない場合は、電源を切らずにスリープにしておくと、次にパソコンを使うときにすぐに使い始めることができます。

POINT

- 次のような場合は、スリープにしないでください。

・パソコンを長時間使わないとき
・パソコンの動作が遅くなったり、正常に動作しなくなったりしたとき

いったんパソコンの電源を切り、再度電源を入れ直してください。

スリープのしかた

「スタート」ボタン→ の →「スリープ」の順にクリックします。作業中のデータなどがメモリに保存され、パソコンがスリープの状態になります。スリープ中は、電源／スタンバイランプがオレンジ色に点灯します。

スリープから復帰（レジューム）する場合は、電源ボタンを押します。

なお、スリープの詳細については、「FMV マニュアル」または「ドライバーズディスク」（K3240 のみ）内にある『製品ガイド』の「機能」－「省電力（Windows Vista の場合）」をご覧ください。

POINT

- スリープ中は、メモリに保存したデータなどを保持するために少しずつ電力を消費します。
- 「スタート」ボタン→ （電源ボタン）の順にクリックしてスリープにすることもできます（出荷時の状態）。この設定は変更できます。変更する場合は、「電源オプション」ウィンドウで行ってください。
- スリープから復帰（レジューム）する場合は、BIOS のパスワードなどのセキュリティ機能は働きません。スリープから復帰するときにパスワードの入力を必要とする場合は、Windows のパスワードを設定してください。設定方法については、Windows のヘルプをご覧ください。
- 復帰（レジューム）する場合は、電源ボタンを4秒以上押し続けないでください。電源ボタンを4秒以上押し続けると、本パソコンの電源が切れます。

2. 必要に応じてお読みください

BIOS の設定をご購入時の状態に戻す

BIOS セットアップの設定値を、本パソコンご購入時の状態に戻す方法について説明します。

本パソコンを起動し、「FUJITSU」ロゴが表示されている間に【F2】キーを押すと、BIOS セットアップが起動します。BIOS の設定値をご購入時の設定に戻すには、「Exit」メニューの「Load Setup Defaults」を実行した後、設定を保存してください。

重 要

- 「Load Setup Defaults」を実行しても、BIOS のパスワードの設定は、現在お使いの状態のまま変更されません。

リカバリ概要

Windows が起動しないなどの問題が発生した場合、ハードディスクの領域を変更したい場合は、リカバリを行います。

リカバリの概要と手順

■概要

リカバリとは、「リカバリディスク」を使用して、OS、ドライバなどのプレインストールソフトウェアをご購入時の状態に戻す操作です。

「リカバリディスク」では、次の方法でリカバリを実行できます。

- ●C ドライブのみご購入時の状態に戻す（推奨）
  ハードディスクの領域は現在お使いの状態のまま、C ドライブのみご購入時の状態に戻します。D ドライブ以降のデータは、変更されません。
  この方法でリカバリを行うと、C ドライブのデータはすべて失われます。あらかじめ必要なデータはバックアップしておいてください。
- ●領域を設定した後、ご購入時の状態に戻す
  ハードディスクの領域を設定した後、D ドライブをフォーマットし、C ドライブの内容をご購入時の状態に戻します。領域は、1GB 単位で 2 区画まで設定できます。
  この方法でリカバリを行うと、ハードディスク内のデータはすべて失われます。あらかじめ必要なデータはバックアップしておいてください。

■手順

リカバリは次の手順で行います。

1 リカバリ前の準備（→ P.25）
2 リカバリ方法（→ P.25）

注意事項

- ●リカバリを行うと、C ドライブのデータはすべて失われます。また、ハードディスクの領域を設定した場合は、D ドライブ以降のデータもすべて失われます。必要に応じて事前にバックアップしておいてください。
- ●ハードディスクの領域を設定せずにリカバリを行った場合は、C ドライブ以外のドライブのデータは変更されません。
- ●周辺機器を取り付けている場合は、それらを一度取り外し、ご購入時の状態に戻してください。
- ●リカバリを終えてセットアップが終了するまで、LAN ケーブルを接続しないでください。LAN ケーブルを接続してセットアップを行うと、エラーメッセージが表示されることがあります。
- ●カスタムメイドのソフトウェアはリカバリされません。
- ●FMV バリューシリーズで選択したソフトウェアはリカバリされません。
- ●領域設定できる最大容量はお使いになるハードディスクにより若干異なります。
- ●リカバリには時間がかかります。時間に余裕を持って、操作を実行してください。

リカバリ操作

本パソコンの C ドライブをご購入時の状態に戻す「リカバリ」の方法を説明します。

POINT

- リカバリに関する注意事項（→ P.25）をよくお読みのうえ、リカバリを行ってください。

リカバリ前の準備

リカバリを実行する前に、次の操作を行ってください。

■BIOS 設定について

BIOS の設定をご購入時の状態に戻します（→ P.25）。

POINT

- BIOS セットアップの設定をご購入時と異なる設定にしていると、エラーメッセージが表示されることがあります。

リカバリ方法

次のものを用意してください。

●「リカバリディスク 1」～「リカバリディスク 5」

1 本パソコンを起動します。

2「FUJITSU」ロゴの下に文字が表示されている間に、【F12】キーを押します。

「Boot Menu」が表示されます。

【F12】キーは軽く押しただけでは認識されない場合があります。しばらくの間押してください。

POINT

- 「Boot Menu」が表示されない場合は、本パソコンを再起動してもう一度操作してください。再起動については、「電源の切り方」（→ P.23）をご覧ください。

3「リカバリディスク 1」をセットします。

4「CD/DVD」を選択し、【Enter】キーを押します。

そのまましばらくお待ちください。

「トラブル解決ナビ」が表示されます。

■ C ドライブのみご購入時の状態に戻す場合（推奨）

リカバリを実行します。手順 11 に進んでください。

■ 領域を設定した後、ご購入時の状態に戻す場合

ハードディスクの領域を設定します。次の手順に進んでください。

POINT

- 「トラブル解決ナビ」が表示される間、一時的に画面が真っ黒な状態が続いたり、画面に変化がなかったりすることがありますが、故障ではありません。電源を切らずにそのままお待ちください。

5「ユーティリティ」タブの「領域設定」を選択し、「実行」をクリックします。

「ご使用上の注意」が表示されます。

6「ご使用上の注意」をよく読み、「同意する」をクリックし、「次へ」をクリックします。

「領域設定」が表示されます。

重要

- ハードディスク内のデータはすべて失われます。あらかじめ必要なデータはバックアップしておいてください。

7 領域を設定します。

■ ハードディスク全体を 2 区画で使用する場合

スライダーを左右にドラッグして C ドライブと D ドライブの容量を指定します。領域は 1GB 単位で設定できます。

なお、ハードディスクの容量をご購入時と同じにする場合は、「購入時に戻す」をクリックします。

■ ハードディスク全体を 1 区画で使用する場合

「ハードディスクを 1 区画に設定する。」にチェックをつけます。

8「実行」をクリックします。

確認画面が表示されます。

重要

- 現在の領域設定を変更しない場合や、ご購入時から領域の設定を変更していない場合も、ハードディスク内のすべてのデータが失われます。

9「はい」をクリックします。

領域の設定が始まります。

領域の設定が完了すると、「領域設定の完了」が表示されます。

10「完了」をクリックします。

「トラブル解決ナビ」が表示されます。

11「リカバリ」タブの「リカバリ」を選択し、「実行」をクリックします。

「ご使用上の注意」が表示されます。

12「ご使用上の注意」をよく読み、「同意する」をクリックし、「次へ」をクリックします。

「リカバリの実行」が表示されます。

重要

- C ドライブ内のデータはすべて失われます。あらかじめ必要なデータはバックアップしておいてください。

13「実行」をクリックします。

リカバリが始まります。

CD/DVD ドライブに、「リカバリディスク n」を入れてください。」と表示されたら、画面に表示された番号のリカバリディスクをセットし、しばらくしてから「OK」をクリックします。

リカバリが終了すると「リカバリの完了」が表示されます。

14 最後の番号のリカバリディスクを取り出し、「完了」をクリックします。

本パソコンの電源が切れます。

15「セットアップ」（→ P.21）を参照して Windows のセットアップを行います。

- 手順14で本パソコンの電源が切れた後、10秒以上待ってから電源を入れてください。

以上でリカバリ操作は終了です。

お客様が実行したセキュリティ対策や各種設定内容は、実行前の状態に戻っています。セットアップ後、「Windows Update」などのセキュリティ対策を行ってください。また、必要に応じて、カスタムメイドや FMV バリューシリーズで選択したソフトウェアのインストールや設定などを行ってください。詳しくは、「セットアップ後」（→ P.22）をご覧ください。

リサイクルについて

■本製品の廃棄について

本製品（付属品を含む）を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

●液晶ディスプレイが添付または内蔵されている機種をお使いのお客様へ

本製品の液晶ディスプレイ内の蛍光管には水銀が含まれております。

●法人・企業のお客様へ

本製品の廃棄については、弊社ホームページ「IT 製品の処分・リサイクル」（http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/products/recycle/recycleindex.html）をご覧ください。

●個人のお客様へ

本製品を廃棄する場合は、必ず弊社専用受付窓口「富士通パソコンリサイクル受付センター」をご利用ください。

詳しくは、「富士通パソコンリサイクル受付センター」のホームページ（http://azby.fmworld.net/recycle/）をご覧ください。

■使用済乾電池の廃棄について

ワイヤレスキーボード、ワイヤレスマウスなどには乾電池を使用しており、火中に投じると破裂のおそれがあります。

使用済乾電池を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

●法人・企業のお客様へ

使用済乾電池を廃棄する場合は、産業廃棄物の扱いとなりますので、産業廃棄物処分業の許可を取得している会社に処分を委託してください。

●個人のお客様へ

使用済乾電池を廃棄する場合は、一般廃棄物の扱いとなりますので、地方自治体の廃棄処理に関連する条例または規則に従ってください。

有寿命部品と消耗品について

■有寿命部品について

●本製品には、有寿命部品が含まれています。有寿命部品は、使用時間の経過に伴って摩耗、劣化などが進行し、動作が不安定になる場合がありますので、本製品をより長く安定してお使いいただくためには、一定の期間で交換が必要となります。

●有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や使用環境などにより異なりますが、1 日約 8 時間のご使用で約 5 年です。なお、この期間はあくまでも目安であり、この期間内に故障しないことをお約束するものではありません。また、長時間連続使用など、ご使用状態によっては、この目安の期間よりも早期に部品交換が必要となる場合があります。

●本製品に使用しているアルミ電解コンデンサは、寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙の原因となる場合がありますので、早期の交換をお勧めします。

●摩耗や劣化などにより有寿命部品を交換する場合は、保証期間内であっても有料となります。なお、有寿命部品の交換は、当社の定める補修用性能部品単位での修理による交換となります。

●本製品をより長く安定してお使いいただくために、省電力機能の使用をお勧めします。省電力機能については、「FMV マニュアル」または「ドライバーズディスク」（K3240 のみ）内にある『製品ガイド』の「機能」－「省電力（Windows Vista の場合）」をご覧ください。

また、一定時間お使いにならない場合は電源をお切りください。

主な有寿命部品一覧

CRT、液晶ディスプレイ、ハードディスクドライブ、フロッピーディスクドライブ、CD/DVD ドライブ、スマートカードリーダ／ライタ、キーボード、マウス、AC アダプタ、電源ユニット、ファン

■消耗品について

●バッテリパックや乾電池などの消耗品は、その性能／機能を維持するために適時交換が必要となります。なお、交換する場合は、保証期間の内外を問わずお客様ご自身での新品購入ならびに交換となります。

■24 時間以上の連続使用について

●本製品は、24　時間以上の連続使用を前提とした設計にはなっておりません。

お問い合わせ先について

■お問い合わせの前に

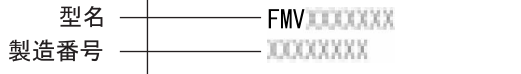
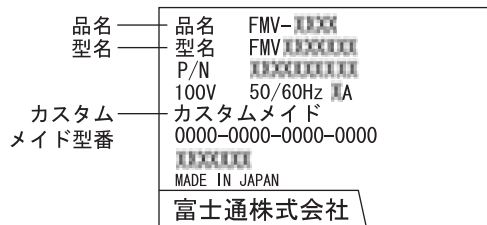
あらかじめ次の項目について確認してください。

□品名／型名／カスタムメイド型番の確認

パソコン本体のラベルに記載されています。

●正面に貼付

型名 FMV

製造番号

●背面に貼付

（イラストは状況により異なります）

□修理を依頼する場合

●「リカバリディスク」の用意

必ず「リカバリディスク」を添付してください。

■お問い合わせ先

次の連絡先へお問い合わせください。

こんなときには	こちらへ
添付品の不備	ご購入元にご相談ください。
故障かなと思われたとき	「FMV マニュアル」または「ドライバーズディスク」（K3240 のみ）内にある『製品ガイド』の「トラブルシューティング」をご覧ください。 それでも解決できない場合は、ご購入元にご相談いただくか、**「富士通ハードウェア修理相談センター」**までお問い合わせください。 **< お問い合わせ先 >** **通話料無料 ：0120-422-297** **受付時間 ：9：00 ～ 17：00 （土曜・日曜・祝日・年末年始を除く）** 部品送付による修理の場合、良品部品をお届け後、窓口よりお届けの確認と不良部品の引取日程などについてご連絡いたします。あらかじめご了承ください。
添付のソフトウェアのお問い合わせ	「FMVマニュアル」または「ドライバーズディスク」（K3240のみ）内にある『製品ガイド』の「トラブルシューティング」－「お問い合わせ先」をご覧ください。
技術的なご質問・ご相談	「FMV マニュアル」または「ドライバーズディスク」（K3240 のみ）内にある『製品ガイド』をご覧ください。それでも不明な点がございましたら**「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」**までお問い合わせください。ご質問、ご相談についての回答は専門技術員からのコールバックとなります。 **< お問い合わせ先 >** **通話料無料 ：0120-950-222** **受付時間 ：9：00 ～ 17：00 （土曜・日曜・祝日およびシステムメンテナンス日を除く）**
富士通サプライ品のご購入	富士通サプライ品のご購入については、**「富士通コワーコ株式会社」の「お客様総合センター」**までお問い合わせください。 **< お問い合わせ先 >** **通話料無料 ：0120-505-279** **受付時間 ：9：00 ～ 17：30 （土曜・日曜・祝日・年末年始を除く）** URL ：http://jp.fujitsu.com/coworco/

・ 電話番号は、おかけ間違いのないよう、ご注意ください。
・ 「富士通ハードウェア修理相談センター」、および「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」は、ダイヤル後、音声ガイダンスに従い、ボタン操作を行ってください。お客様の相談内容によって、各窓口へご案内いたします。

■有償サービス「SupportDesk」のご案内

システムの導入支援からソフトウェアの Q&A、万一のハードウェアトラブル時の修理など、お客様のパソコンに関するビジネスライフをトータルにサポートするサービスをご用意しております。詳しくは、富士通ホームページ「製品サポート」をご覧ください。

URL ：http://segroup.fujitsu.com/fs/products/pc/